

第7回 奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年2月10日(月) 午前10時00分～12時00分
場所 : 奈良県新公会堂 会議室1・2
出席者 : 委員長 増井 正哉
委員 井原 縁、佐野 純子、平井 宗助、西口 実、坂井 賢次、
前田 剛志、伊藤 政夫、山本 浩扶臣、遊津 隆義
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》道路環境課、奈良土木事務所、奈良公園管理事務所、
風致景観課、文化財保存課、文化振興課、管財課
《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課、
奈良市総合政策課

- 議事 ①若草山周辺地区の進め方
○若草山のにぎわいづくり
○若草山環境影響調査結果(中間報告)
②吉城園周辺地区・登大路ターミナルの進め方
③奈良公園での取り組み

議事要旨

- ①若草山周辺地区の進め方
○若草山のにぎわいづくり、若草山環境影響調査結果(中間報告)
・観光の間口を広げる工夫として、高さのある若草山に登るということは有効。
・ヘリテージ(遺産)アセスも重要では。
・奈良のにぎわいづくりは当然必要だが、にぎわいの意味を踏まえ、質や種類について考える必要がある。もしつくとしても、百年後にも活用される、或いはその物が景観として見られるような物とする必要がある。「若草山一帯のにぎわいづくり」という視点からの検討を。
・眺望だけでなく、新しい観光のあり方も含めて提案があつてよいのでは。
・にぎわいづくりの程度やオプションなどの議論をもっとすべき。
・前段として、文化財や世界遺産のバッファゾンの意味と価値をもっと議論すべきであり、これが良い機会になると思う。
- ②吉城園周辺地区・登大路ターミナルの進め方
・奈良県として、価値を損なわないことが重要。
・築地塀や水辺を活かすなど、やり方が大切で、応募条件の検討をしっかりと。
・法的、制度的なクリアと合わせ、目指すところが応募者に伝えるところが重要。
・世界遺産興福寺のバッファゾーンであることも留意を。
- ③奈良公園での取り組み
・取り組みが個々に感じられ、マネジメントが少し欠けているように感じる。奈良公園全体の議論を。

以 上